

事業所職員向け 児童発達支援自己評価表

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5		広い空間を意識した配置、スペースづくりを心がけている。
	2	職員の配置数は適切であるか	5		基本的に職員対児童、1対1で過ごしている。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	5		児童たちも、どこに何があるのかわかって行動している。(置き場所を固定している事もあり。)室内はバリアフリー、トイレに手すりがある。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	5		毎日清掃している。開所の朝に室内の消毒をするなど、衛生面に注意をはらっている。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	5		月ごとに支援会議を実施。必要に応じてモニタリングを行っている。会議以外でも適宜課題について話し合いをしている。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5		毎年事業所評価を行い、保護者様のニーズについては、面談等の機会を設け聞き取りをしている。職員で共有→業務改善に努めている。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4	1	事業所評価についてはHPやブログにて公開している。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	3	2	きぼう全体で行われる会議などで、情報の共有や評価、助言を必要に応じもらっている。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5		外部研修へ積極的に参加し、内部研修をも充実させている。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	5		定期的なモニタリング、送迎時の際に聞き取り等を行っている。会議で分析・評価をし、作成している。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5		ICF、感覚統合評価、遠城寺式の活用。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	5		年に2回面談を行い、必要な方に対しては随時、相談を受け付けている。日々の情報共有、児童への支援経過を通して、課題を分析している。一人一人に合う支援内容を設定している。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	5		集団活動と個別活動の導入をしている。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5		朝礼の際や会議の際に話し合い行っている。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5		季節に合わせた製作や行事を行っている。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	5		ニーズに合わせて作成している。児童のレベルに合わせて支援している。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5		職員の勤務状況により、朝礼を行う事が難しい場合には、前日に話し合う等している。様々なツールを利用し、共通理解に努めている。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	3	2	職員の勤務状況により、支援終了後に打ち合わせを行うのが難しいが、申し送りノート等の活用をしながら共有を行っている。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5		保護者様との連絡帳のやり取り、事業所では活動記録を残している。
	20	定期的モニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	5		支援計画書作成前には、モニタリングを紙面で行い必要に応じ聞き取りを行っている。
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5	1	児童発達で担当者会議は、今年行えなかったが必要に応じ担当者が参加している。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	4	1	こども部会や顔の見えるネットワーク会議等を通し他機関と情報交換をしている。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	4	1	必要に応じ病院等と連携をしている。主治医や相談員と連携を図りながら支援している。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	4	1	必要に応じ病院等と連携をしている。医療的ケア判定スコア、指示書をもとに支援している。また、報告書も提出している。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	3	2	今年度は連携する機会がなかったが必要に応じ利用を移行される方については情報共有を行っている。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	3	2	今年度は連携する機会がなかったが必要に応じ利用を移行される方については情報共有を行っている。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5		こども部会や顔の見えるネットワーク会議等を通し他機関と情報交換をしている。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	4	1	外出活動を行っている際に挨拶をする、児童館の利用者と関わる機会を持つことができた。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	5		こども部会や顔の見えるネットワーク会議等を通し他機関と情報交換をしている。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5		連絡帳や送迎の際に情報の共有を行っている。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	5		保護者会や保護者参加型イベントの開催や必要に応じ電話対応等を行っている。保護者様に興味関心を持っていただけるよう努めている。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5		契約の際や契約変更の際に話をしている。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
保護者への説明責任等	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	5		支援計画書更新の際には保護者様へニーズの聞き取りを行い、作成後は内容を確認している。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5		連絡帳や送迎の際に情報の共有を行っている。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	5		定期的な保護者会や、保護者参加型のイベントを開催し共有している。
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5		電話での相談や面談の申し入れがあった際は速やかに日程の調整や対応をしている。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5		きぼうだよりの作成、ブログの作成をしている。またらくらく連絡網も活用している。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	5		鍵付き書庫にて保管。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5		各家庭に合わせ伝達方法を手紙や口頭等使い分けている。言葉でのコミュニケーションが難しいお子様には、絵カードを活用している。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		5	医療的ケア児も通所している為、感染症のリスクを考え、開催を見送らせている。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	5		定期的な避難訓練の開催とマニュアルについての読み合わせを行っている。保護者様にはらくらく連絡網で周知し、職員間では申し送りをしている。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5		定期的に避難訓練を行っている。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	5		契約時の確認、服薬について変更があるかどうかは面談にて確認をしている。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4	1	契約の際に共有。検査報告書を収集し、昼食支援(見守り)を行っている。対象となる食事提供はない。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5		紙面にてファイル等に保管、共有。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5		定期的に研修を行い、マニュアル作成している。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	5		契約の際に説明、必要に応じ同意書を頂いている。

令和5年度分(令和6年2月)

○この児童発達支援自己評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。「はい」、「いいえ」のどちらかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。